

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和2年度	事業年度	令和元年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	発達支援事業		整理番号	1006-015		
前総合計画体系	政策	第2章 やさしく健やかな東みよし	担当部署	健康づくり課		
	基本施策	1 健康づくり・医療体制の充実 3 子育て支援の充実	所属長	小原 京子		
	単位施策	(4)母子保健の充実 (3)子どもと母親の健康の確保	電話番号	82-6323		
根拠法令等	母子保健法					
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等	
事業継続年数	事業開始年度	平成18年度	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input type="checkbox"/> 6年～10年	<input checked="" type="checkbox"/> 11年～20年	<input type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 具体的に誰(なに)を	発達支援事業 育児相談 発達相談 発達検査の実施 (2歳児歯科健診、3歳児健診等、健診後に保育所に入所していない子どもで、集団療育や個別療育を希望する方)	対象者	健診後に必要な対象者・希望者
事務事業の目的 どのような状態にしたいのか	次世代を担う東みよし町に住む子どもたちが健やかに育つ支援をする。 健診後の事後指導を充実させ、保護者の負担を軽減させる。		
事務事業の内容 どのような方法・手段で 事務事業を行ったか	<p>鳴門教育大学教授(小児科専門医)や臨床心理士による育児相談・発達相談と発達検査、各種健診を実施している。(主に3歳児健康診査時に母子の必要性に併せて案内しており、育児に悩む保護者の相談や子どもの特性を保護者自身が理解し子どもにあった育児につながるように本事業を実施している。必要な児童には療育センターの案内も実施。)</p> <p>徳島県障害児等療育支援事業の実施主体の社会福祉法人池田博愛会すぎのご訪問による療育指導の事業として、週1回程度(毎週金曜日で役場2階の和室が使用できる日)1時間を集団療育として、「健診後の子育て教室 のびのび」を実施している。(主に保育所等の利用がなく集団経験の少ないケースに案内。)</p>		
事務事業の成果 結果・実績はどうか	<p>令和元年度実績</p> <p>育児相談件数 実人員 40人 延べ 77人</p> <p>のびのび教室 対象 14世帯19人 延べ 369人が参加</p>		
特記事項			

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	平成30年度	令和元年度(評価対象年度)	令和2年度(見込)
事業費【(a)～(e)の合計】	883,000 <small>うち繰越分↓ 0</small>	913,452 <small>うち繰越分↓ 0</small>	917,000 <small>うち繰越分↓ 0</small>
財源内訳	国庫支出金(a)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	県支出金(b)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	地方債(c)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	その他(d)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	うち受益者負担	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	一般財源(e)	883,000 <small>うち繰越分↓</small>	913,452 <small>うち繰越分↓</small>
特定財源の名称・金額			
令和元年度 経費の内訳 事務事業に係る経費の詳細	予算科目(歳出区分) 会計 1 一般会計 款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 4 母子保健費 報償費 880,000円 消耗品費 27,940円 通信運搬費 5,512円		
備考			